

## 「福祉」について、体験的に学ぶことで、理解を深めることができました 1年 福祉体験学習会 12月15日(金)

本校では、「外部人材等の活用により、指導内容を高めることで、教育活動の充実を図る。」ことを学校経営方針の重点目標に掲げて、教育活動を行っています。本年度、1年生は、総合的な学習の時間を使い、「福祉」についての学習に取り組んでいます。11月には、「『フクシ』ってなんだろう?」をテーマに、東京都福祉人材センターの方による福祉学習講演会を実施しました。その後、「ボランティア」や「ユニバーサルデザイン」についての学習に取り組んできました。そして今回は、「福祉体験学習会」を行いました。



12月15日(金)、1・2組と3・4組とで交代しながら、2F アリーナ会場で「ポッチャ体験」を、1F 武道場会場で「疑似体験」を実施しました。

「疑似体験」では、装具を使っでの「高齢者」「妊婦」「視覚障害者」の疑似体験をしました。アイマスクやおもり、サポーター等を実際に装着してみると、いかに身体の動きが制限されるかを身をもって知ることができ、どんな支援や配慮が必要なのかも実感をもって理解することができました。



「ポッチャ体験」では、チームに分かれ、対抗戦を行いました。「投げる」だけの簡単な競技のようですが、状況に応じて作戦を組み立てていく奥深さがあり、白熱した競技会になりました。こうした、年齢・性別・障がいに関わらず、すべての人が一緒にできる競技の可能性と楽しさを知ることができました。



実施にあたり、競技資材・装具等を荒川区スポーツ振興課、日本赤十字社東京都支部青少年ボランティア課よりお借りしました。また、ポッチャの会場設営・競技運営では、荒川区スポーツ推進委員の方々にご準備・ご指導等いただきました。誠にありがとうございました。